

資料 3

三川
紫波町図書館
SHIWA PUBLIC LIBRARY

第5回図書館・学校図書館の運営の充実に
関する有識者会議 発表資料

2025.7.17 (木)

紫波町図書館（岩手県） 主任司書 手塚 美希

地域社会における紫波町図書館の役割 連携・協働について



しわちょう

紫波町のまちづくり

紫波町図書館 の位置づけ

2000（平成12）年～ 循環型まちづくり

2005（平成17）年～ 協働のまちづくり

2007（平成19）年～ 公民連携によるまちづくり

2012（平成24）年～ オガール・プロジェクトの中核
官民複合施設オガールプラザ内に紫波町図書館オープン

「知りたい・学びたい・遊びたい」を支援する図書館

『紫波町図書館基本構想・基本計画』紫波町教育委員会,2010年



連携・協働
何のため？

連携・協働
→ 解決手段

誰もが「暮らし心地の良いまち」へ 『第三次紫波町総合計画』
よりよい地域社会にする 町の課題に向き合う

複数のプレイヤー・団体



みんなで考え、それぞれ行動を起こすためには、

知識・情報・つながり が必要

図書館 がハブになる



環境づくり

- ・あらゆる人を許容し、あいさつを交わす空間、BGMあり、飲み物OK、雑談は情報源
- ・コミュニケーションを土台として情報と人、人をつなぐ

例) 10周年記念イベント (2022年)

町の22ジャンル (鉄道、音楽、映画、職人、石、鳥、バレーボールなど) の専門家・愛好家が、図書館の各棚の前にブース設置。直接、話ができる。

日々のレファレンス（調査・相談）、雑談、関係者との会話、ニュースなどから、気づくことがある

- ・ 町で何が起きているか
- ・ どんな課題があるか
- ・ どうしたら解決できるか

3つの考え方から**目的**ごとに**手段**や**連携先**を決め、**ハブ**として何ができるか考える

例１）鳥獣害対策 農家減少を防ぐ

町で起きていること	課題	どうすれば解決できるのか (手段)
町民（生産者）より相談 「農作物への獣害がひどい」 「個人ではどうにもならない」	地域ぐるみで対策を行うには？ 地域の実情がわからない 地域で正しい対策を共有する場がない 人手不足	企画展示 生態、実際の被害、対策を知るためのさまざまな情報を掲示 関係者・専門家のインタビュー、おススメ本など
農林課より相談 「獣害対策の成功例を町民に広く紹介したい」 「ほかの地区でも実践してほしい」	生産者に声をかけても人が集まらない 生産者だけでなく、地域の人たちも関心を持ってほしい	夜のとしょかん 成功事例の関係者によるトークイベント
		出張としょかん 各地区公民館で獣害対策の講座

連携・協力先

町農林課・環境課、生産者、地域住民、岩手大学農学部准教授、同大学院生、（一般社団法人）農山漁村文化協会、JAいわて中央、町鳥獣被害対策実施隊、公民館

連携

例2) 地域の記憶・記録継承、町の姿を未来に残す

町で起きていること	課題	どうすれば解決できるのか (手段)
郷土史家の高齢化 地域史、自費出版などの書き手減少 町でのなりわい、暮らし、職人技などが継承者不在で消えていく	誰が町の記憶を残すのか どうやって残すのか 公文書館、博物館なし	聞き書きスト養成講座 町の人が、町の80代以上の人に聞き書きを行い、作品として残す 聞き書きする人を育てる
一人暮らしの高齢者増 コロナ禍で人と会えない 有線放送回線廃止（気軽に電話連絡できない、町の情報が届かない）	話す人がいない 認知症リスクが上がる 車の免許がなくなると、外に出かけられない	公開聞き書き 町の人が、町の80代以上の人に聞き書きを行い、作品として残す 聞き書きする人を育てる
高齢者の昔のお話を聞くのが好き インタビューがうまくなりたい	話を聞いても残す方法がない インタビューの手法を学ぶ場所がない	聞き書きスト養成講座参加 実践をつむ

連携・協力先

80代以上の町民、塩野米松氏（聞き書きの第一人者）
聞き書き希望者、公民館、民生委員など

連携

例3) コロナ禍 命と暮らしを守る

町で起きていること	課題	どうすれば解決できるのか (手段)
コロナに対するエビデンスなし デマ情報が飛び交う 疑心暗鬼、不安要素多い マスクがない	デマや間違った情報を拡散しないなど、情報リテラシーを学ぶ場がない マスクの作り方の本、少ない、発注しても配送が難しい	企画展示 「この情報、信じていいの？」 公民館へマスクの作り方配布
町の飲食店打撃 県内消費の落ち込み 県外に移動できない（夏休み）	飲食店が多く、すべての状況を把握することが難しい 県内の最新のガイドブックがない	企画展示「わたしの1冊 いわて33再発見！」 県内33市町村の観光案内担当の おすすめの場所、お土産、食事、本 紹介、観光パンフレット設置
失業、転職の相談増加 県の自殺率高い	ハローワークがない 金銭面の余裕、移動手段がない 町で孤立している方々の把握	就労相談会、セミナー開催 企画展示、コーナー設置 「あなたの悩みはみんなの悩み」 関係団体のパンフレット設置 社会的処方となる場所の紹介

連携・協力先

医師、コミュニティナース、専門家（メディアリテラシー・ヘルスリテラシー）、町福祉課、社会福祉協議会担当者、もりおか若者サポートステーション、県および県内観光担当課、公民館、学童保育など

連携



ふれあいミーティング (月1回)

- コミュニティ・ソーシャルワーカー
- 障害者福祉施設
- 社会福祉協議会 困窮支援担当
- 福祉課高齢者支援室
- コミュニティ・ナース
- 医師
- 司書

協働

複数の団体がゆるやかに有機的につながる関係



BOOK BAR 酒のまち 紫波

- 書店員（盛岡市）
- 酒蔵4、ワイナリー1
- 町商工観光課
- 地域おこし協力隊
- 司書

協働

例4) 子どもたちの生きる力を地域で育てる

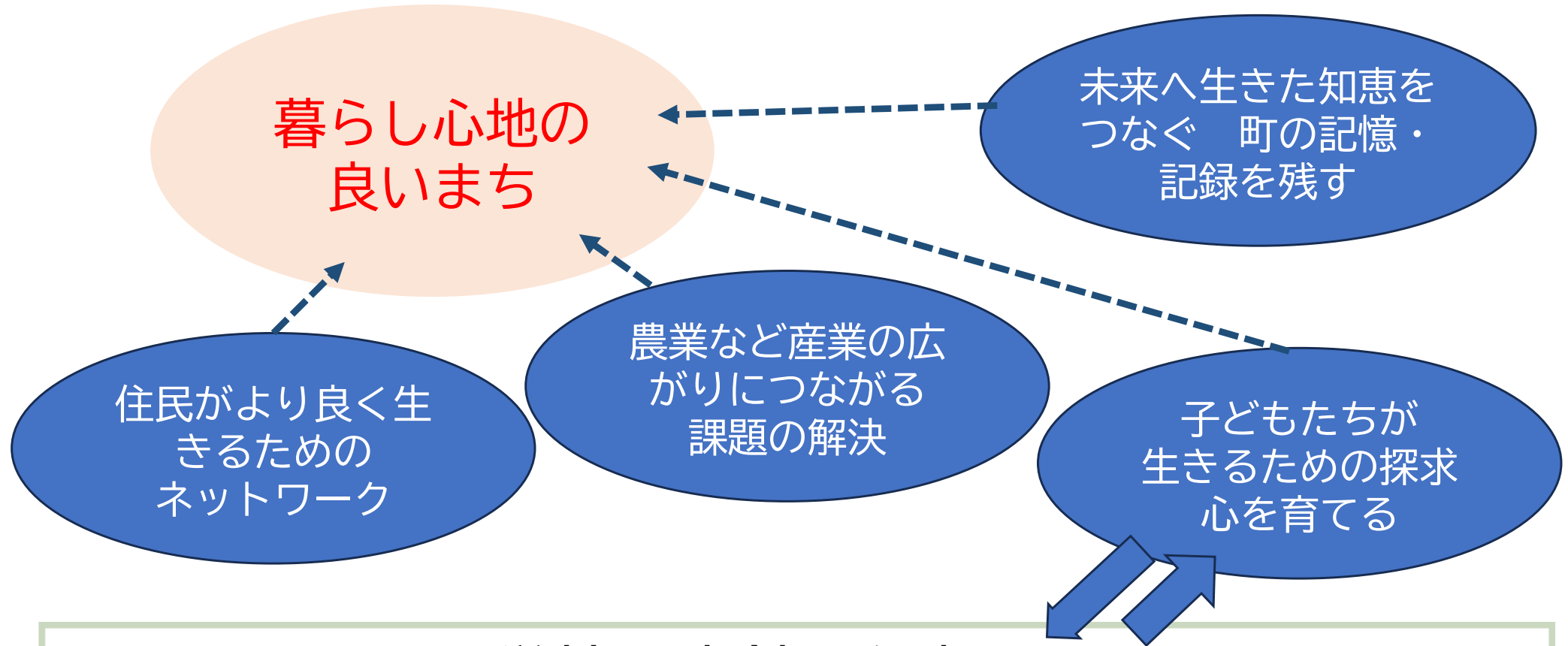
連携

町で起きていること	課題	どうすれば解決できるのか (手段)
〈子ども〉 楽しい本を読みたい 本の選び方がわからない 読書が苦手 落ち着ける場所がほしい 〈地域〉 子どもの学びを応援する大人がいる 公民館が長期休みの活動を支援 スマホ・ゲーム以外の遊びの選択肢が少ない	〈子ども〉 図書館が学区外 本の相談の場がない ICT活用が苦手 情報リテラシーを学ぶ機会が少ない 〈地域〉 自由研究、探究学習などの支援方法がわからない	学校図書館の充実（理想） 【調べるちからは、生きるちから】 紫波町図書館調べる学習コンクール 調べる学習マスター 希望の小学校に年1回出張授業 図書館調べる学習コンクールサポーター向け講座 図書館見学時に、レファレンスサービスの周知徹底 ・多世代で楽しめるボードゲーム体験会
〈学校〉 本を読む子どもの減少 学校図書館の利用を増やしたい （学校より相談） 学校図書館の魅力を上げたい （PTAより相談） 地域学習がある 学校運営協議会制度導入、コミュニティ・スクール開始 学校（子ども）を核とした地域づくり 地域でのキャリア教育	予算（資料費、人件費）不足 学校図書館の役割の偏り 読書＞学習＞情報となっている 役割の共通認識の確認 司書教諭が兼務で授業支援に専念しづらい 学校司書の在校時間が短く連携が難しい、孤立しがち 課題共有の場がほしい フィールドワーク前の事前学習の不足 地域学習での学校図書館活用	教育目標のための学校図書館の長期的な計画がある（理想） 学校図書館・公共図書館・子どもと一緒に考える場づくり（理想） 図書室のビフォー・アフター（公共図書館協力） 学校図書館関係者の定例会議 地域学習で得た情報の蓄積提案 学校図書館サポーター（地域ボランティア）の応援 公共図書館のマインドを共有（理想）

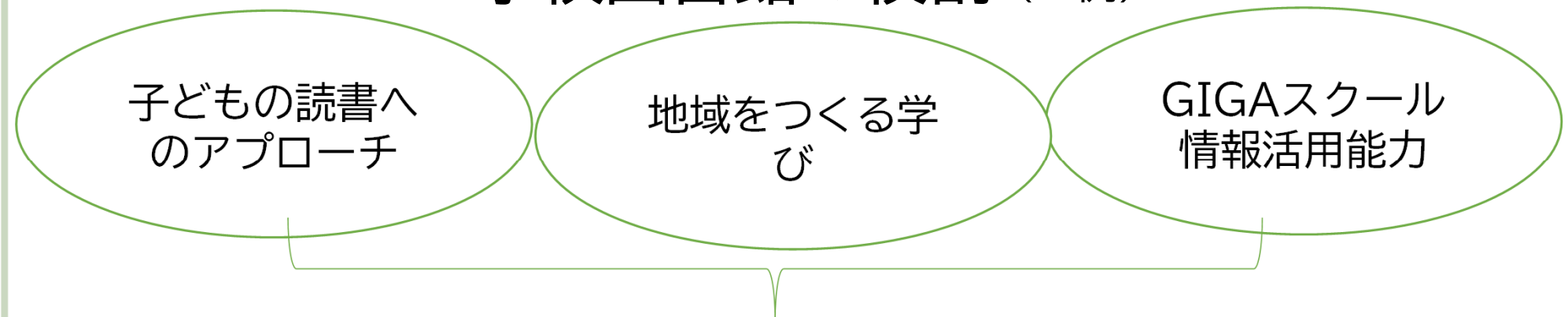
連携・協力先

小・中学校、放課後児童クラブ、学童保育所、教育委員会、公民館、地域住民

地域社会における紫波町図書館の役割（一例）



学校図書館の役割（一例）



教員（+司書教諭+学校司書+地域コーディネーターがいたら…）

紫波町図書館の課題

1 財源確保

- ・町の財政難 「町民の生命・財産の安全・安心に直結する事業」が優先される
 - 自治体・町民に「本を読む」以上の図書館の意義を伝える 発信の強化
 - 資金調達の方法・可能性 専門部署の検討

2 人材確保

- ・雇用形態による継続の難しさ
- ・異動による地域の人脈、経験など、つながりのリセット
 - 長く地域で関係を築いていくための安定的な環境整備
- ・人材教育の見直し

3 デジタル社会の情報活用能力・リテラシーの醸成（急務）

- ・生活のあらゆる場面で必要だが不足
- ・情報の偏り、分断、デジタル格差（フィルターバブル、エコーチェンバーなど）
 - 地域にひらかれた学びの場、ハブとして、地域全体の情報教育の拠点になる
 - 学校、地域、家庭、メディアなど教育・情報機関などが連携して、リテラシーを育む
 - 多様な意見や立場、世代が交わる、オープンで身近な対話の場をつくる

あらゆる知識・情報が得られ、循環（提供者、発信者）し、個人だけではなく、官、民、団体、地域住民がつながるハブとしてひらくこと 地域に出る、交流する

図書館 地域社会の協働を生み出す

学校 子どもの学びにまつわる協働を生み出す

公共図書館・学校図書館に情報・知識のハブとなる専任者が必要

（公共：司書 / 学校：司書教諭+学校司書）

教職員定数法の改正、司書教諭の専任、学校司書の専任、努力義務を必置に）

連携・協働のつみかさね



何かをやりたい人が集まってくる
チャレンジと関わりしろ
のある場所へ